

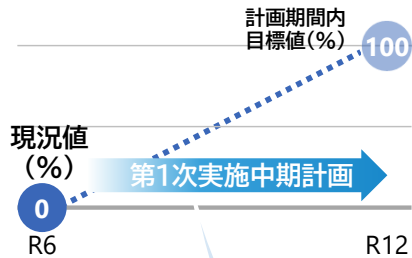
【64】送電網の整備・強化対策【経済産業省】

指標名：広域連系システムのマスタープラン※1を踏まえた送電網（増強運用容量：875万kW（広域系統整備計画策定時点※2））の整備完了率

※1「広域系統長期方針（広域連系システムのマスタープラン）」（令和5年3月電力広域的運営推進機関）

※2 第1次国土強靱化実施中期計画の閣議決定（令和7年6月）時点で広域系統整備計画策定済みのもの

■ 全国値



■ 指標の定義

$$\frac{\text{(運開した増強運用容量の合計値)}}{\text{(整備を開始している連系線の増強運用容量の合計値(875万kW))}} \times 100$$

KPIの対象は、令和7年6月時点で広域系統整備計画策定済みの東京中部間連系設備、東北東京間連系線、北海道本州間連系設備及び中部関西間連系線の4区域

■ 用語解説

● 広域連系系統

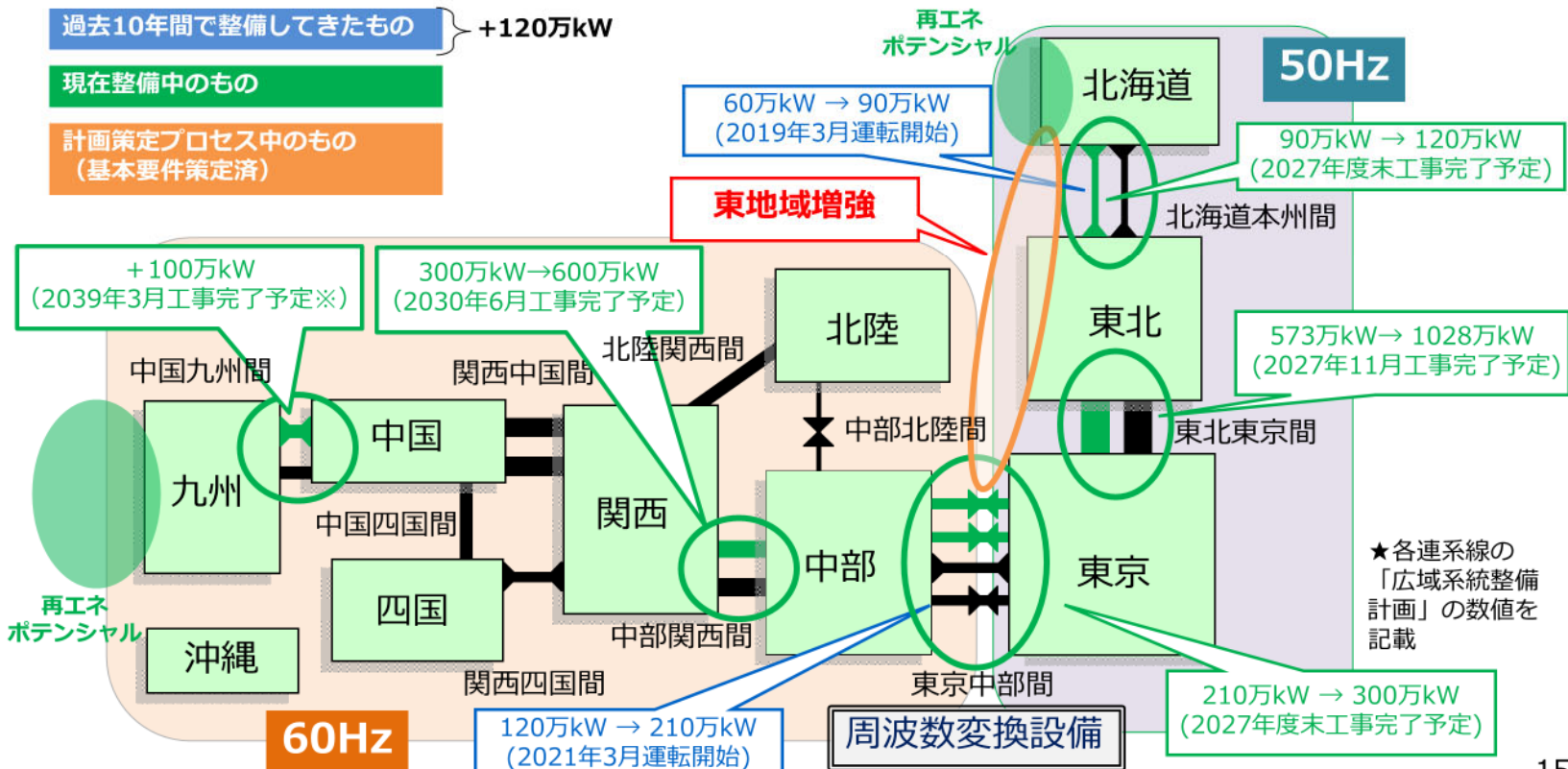
…連系線（一般送配電事業者の供給エリア間を結ぶ250kV以上の交流送電線、200kV以上の直流送電線及び直交変換設備）や地内基幹送電線（各一般送配電事業者の供給エリア内の最上位電圧から2階級の送電線）等の設備

● 送電網

…発電所で作られた電気を消費地に送るための送電線等から構成されるネットワーク

地域間連系線の整備の状況

- **地域間連系線の整備**は、再エネ大量導入と電力の安定供給に向け、**計画的に対応する「プッシュ型」に転換**。全国の広域連系系統のあるべき姿等を示す「マスタープラン」を踏まえ、**整備を進めている**。



※中国九州間連系設備について、事業実施主体は、工期 13 年 6 カ月程度から 11 年程度への短縮の可能性について検討し、可能な限り早期運開を目指すこととしている。

★各連系線の「広域系統整備計画」の数値を記載

